

2022 年度通常総会



日時：2022 年 4 月 26 日

場所：Zoom によるオンライン会議

議事：第 1 号議案

「2021 年度事業報告」の件

第 2 号議案

「2021 年度決算報告および監査報告」の件

第 3 号議案

「2022-2023 年度新役員承認」の件

第 4 号議案

「機関誌冊子体の実費負担」の件

報告：1 2022 年度事業計画

2 2022 年度収支予算

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

公益社団法人
日本オペレーションズ・リサーチ学会

2021年度 事業報告書

事業番号： 公1 (1本のみ)
事業の内容： オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

- ・3月2日, 3日, 東京工業大学 (オンライン開催)
- ・実行委員長：水野 眞治 (東京工業大学)
- ・発表件数 117 件, 参加人数 288 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演：
 - (1) 「新型コロナウイルス感染症とオペレーションズ・リサーチ」
土谷 隆 氏 (政策研究大学院大学)
 - (2) 「理論の理論への応用は理論か応用か？」
岡本 吉央 氏 (電気通信大学)

(2) 秋季研究発表会

- ・9月16日, 17日, 九州大学 (オンライン開催)
- ・実行委員長：古川 哲也 (九州大学)
- ・発表件数 85 件, 参加人数 270 名
- ・アブストラクト集発行
- ・特別講演：
 - 「ラーニングアナリティクスの可能性と課題」
木實 新一 氏 (九州大学)
- ・近藤賞受賞講演：
 - 「離散凸解析の偶然と必然」
室田 一雄 氏 (統計数理研究所・東京都立大学)

2. シンポジウム

(1) 春季シンポジウム

- ・3月1日, 東京工業大学 (オンライン開催)
- ・実行委員長：大和 毅彦 (東京工業大学)

- ・テーマ 「ゲーム理論と OR の最前線」
- ・講演 5 件：予稿集発行

(2) 秋季シンポジウム

- ・9 月 15 日，九州大学（オンライン開催）
- ・実行委員長：藤澤 克樹（九州大学）
- ・テーマ 「DX（デジタル・トランスフォーメーション）と OR の貢献」
- ・講演 5 件：予稿集発行

3. OR セミナー

(1) 第 1 回「量子コンピュータと次世代計算機活用」

- ・6 月 7 日，オンライン開催
- ・コーディネーター：野本多津（株式会社日立製作所）
- ・司会：矢実貴志（株式会社 NTT データ）
- ・講師：宇都宮聖子（アマゾン ウェブサービス ジャパン株式会社），白根昌之（日本電気株式会社），大関真之（株式会社シグマアイ），中川裕也（株式会社 QunaSys）
- ・参加者 54 名

(2) 第 2 回「地理情報システム入門」

- ・10 月 9 日，オンライン開催
- ・コーディネーター・司会：渡部大輔（東京海洋大学）
- ・講師：貞広幸雄（東京大学），渡部大輔（東京海洋大学），長谷川大輔（東京大学）
- ・参加者 36 名

(3) 第 3 回「時系列データ解析と位相的データ解析」

- ・2022 年 1 月 29 日，オンライン開催
- ・コーディネーター：出水宰（株式会社 NTT ドコモ）
- ・司会：田中未来（統計数理研究所）
- ・講師：川崎能典（統計数理研究所），福水健次（統計数理研究所），本武陽一（統計数理研究所）
- ・参加者 46 名

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会（第 46 回）：オンライン開催

(2) 秋季企業事例交流会（第 47 回）：オンライン開催

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2021年3月1日	66	3	1,900部
2021年4月1日	66	4	1,900部
2021年5月1日	66	5	1,850部
2021年6月1日	66	6	1,900部
2021年7月1日	66	7	1,900部
2021年8月1日	66	8	1,900部
2021年9月1日	66	9	1,900部
2021年10月1日	66	10	1,950部
2021年11月1日	66	11	1,950部
2021年12月1日	66	12	1,950部
2022年1月1日	67	1	1,950部
2022年2月1日	67	2	1,900部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ），和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月	巻	号	発行部数
2021年4月	63	2	65部
2021年7月	63	3	60部
2021年10月	63	4	60部
2021年12月 (TORSJ)	63		35部
2022年1月	64	1	55部

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	待ち行列	河西憲一（群馬大学）、木村達明（大阪大学）	30 名	8 回 (1 回)	計 8 回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システム、ヘルスケアなど多岐に渡っている。このうち 1 回は 4 部会・グループ（「信頼性とその応用」、「動的決定モデルとその応用」、「待ち行列」、「量子コンピュータと次世代計算機活用」）の合同で実施された。また、2022 年 1 月 19-21 日に「2021 年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	オンライン 開催
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬 章子（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）	39 名	1 回	11 月 18、19 日にオンラインでシンポジウムを開催した。テーマは「都市・交通システムの安定性と最適化」、「連続最適化の拡がり」、「離散最適化の最前線 - パラメータ化アルゴリズム設計 -」、「大規模データの活用と最適化」である。この他に、2 件の特別講演を設け、海外からの講演者を招いた。このように、国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	オンライン 開催
3	評価の OR	杉山学（群馬大学）、趙宇（東京理科大学）	12 名	4 回 (1 回)	定例研究会では毎回 2 名の講演者を招き、DEA やその他評価に関連した分析手法やその応用研究について講演を行った。本年度全 4 回のうち 1 回は「動的決定モデルとその応用」研究部会との共催で研究会を実施した。延参加者 111 名。	オンライン 開催
4	意思決定 法	飯田洋市（公立諏訪東京理科大学）、大山口菜都美（秀明大学）	9 名	6 回	日本 OR 学会以外の学術学会に所属する研究者にも研究報告を依頼することで、「意思決定」に関する幅広い知見を共有することができた。また、階層分析法の実用例を共有することができた。延べ 50 名の参加があった。	オンライン 開催

5	サプライチェーン戦略	加納 政志（株式会社日立製作所），草刈 君子（ソフトウェアエンジニアリング株式会社）	-名	0 回	サプライチェーンにおける経営戦略，運用戦略，戦略プロセスに対しOR手法の現実適用について事例と理論の両面から研究する。参加者 24 名（平均 24 名）である。活動内容は scsr.jp にて一般公開している。	開催なし 資料公開はオンライン
---	------------	--	----	-----	---	--------------------

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内容	場所
1	ヘルスケアの OR	高木英明（筑波大学），小笠原悠（東京都立大学），阪口昌彦（大阪電気通信大学）	72 名	2 回 (1 回)	OR 研究者とヘルスケア分野の現場研究者の交流と，病院経営，医療の実測データに基づく理論，アルゴリズム，数理モデル等の研究を推進し，我が国の課題に応える OR の新たな応用分野の開拓と普及を図る。	オンライン開催
2	超スマート社会のシステムデザインのための理論と応用	牧野 和久（京都大学），山口 勇太郎（大阪大学），森本 陽（三菱重工業（株））	3 名	5 回 (2 回)	超スマート社会実現のために必要なオペレーションズ・リサーチ関連分野の理論と応用を発展させる研究会を開催した。うち 1 回は 3 日間の夏学校を，1 回は 1 日のワークショップを共催し，延参加者は 473 名	京都大学数理解析研究所 オンライン開催
3	動的決定モデルとその応用	来島愛子（上智大学）吉良知文（群馬大学）	13 名	5 回 (3 回)	今年度も合同開催を含め 5 回の研究会を開催しました。マルコフ決定過程のがん検診・医療への応用、動的計画法の順序付け問題のゲームへの応用などのトピックについて研究会を開催し、交流も一層深まりました。	オンライン開催
4	信頼性とその応用	岡村寛之（広島大学），鄭俊俊（立命館大学）	26 名	5 回 (合同開催 1 回，国際会議共催 1 回)	信頼性及び保全性に関する理論の発展と応用分野の拡大を目指し，合同開催および国際会議共催を含む 5 回の研究会を開催した。メンバーの協力で情報関係など様々な分野の研究者と交流することができ，信頼性の応用を広げることができた。	オンライン開催
5	エネルギーシステムの進化と OR	所 健一（一般財団法人 電力中央研究所），宇田川 佑介（構造計画研究所）	40 名	3 回	本研究部会では，少子高齢化による需要減への対応，脱炭素化へ向けた再生可能エネルギーの活用など，望ましいエネルギーシステムの進化を支える OR 手法の適用方法と，必要となる新たな方法論について検討する。	オンライン開催

6	データドリブンマーケティング研究部会	横山暁（青山学院大学），朝日弓未（東京理科大学），大竹恒平（東海大学）	13 名	4 回	本年度はコネヒト株式会社様から提供いただいた乳幼児を持つ親向けポータルサイトの Q&A と検索履歴データを利用した「データ解析コンペティション」を開催した。11 チームのエントリー，延べ 76 人の参加者があり，12 月初旬に中間発表会 2 回，2 月末に最終発表会 2 回をいずれもオンライン（Zoom）にて開催した。テキストデータの分析ということで，BERT（Bidirectional Encoder Representations from Transformers）を中心とした自然言語処理手法等を用いて各チームが課題をもったデータ集計・分析に取り組み，発表会を通して成果を報告するとともに，議論を行った。	オンライン開催
7	最適化手法とアルゴリズム	谷川眞一（東京大学），伊藤勝（日本大学）	7 名	4 回	4 回の定例会にて計 8 件の講演を開催し、最適化手法やアルゴリズム及びオペレーションズ・リサーチの諸分野に関する最新の研究成果や問題意識の共有および議論を行った。計 4 回の定例会に延べ 197 名が参加した。	オンライン開催
8	流動の数理	鳥海重喜（中央大学），稲川敬介（秋田県立大学）	21 名	5 回（1 回）	都市における輸送，交通ネットワーク，エネルギーに関する研究会をこれまでに 5 回開催し、延べ 136 名が参加した。OR とデータを用いて、ヒト・モノ・金・情報などの流動を数理的に分析する研究の発展に寄与した。	中央大学 オンライン開催
9	危機管理と公衆安全	鵜飼孝盛（防衛大学校），佐久間大（防衛大学校）	20 名	5 回（1 回）	計 5 回の部会を開催し、災害などの脅威への対処方策である危機管理に関する研究、そして、これを未然に防ぎ公共・公衆の安全を実現するための方策に関連する研究およびその社会実装について講演された。	政策研究大学院大学 オンライン開催

	研究グループ	主査, 幹事	メンバー	開催	内容	場所
1	地域課題解決の OR	鈴木 勉（筑波大学），石井 儀光（国土技術政策総合研究所）	50 名	2 回	OR 手法を通して都市や地域の現象に関する諸問題に取り組んでいる研究者や学生を対象とする発表や議論の場として，オンラインでセミナー・ワークショップを 2 回開催した。延べ発表数 27 件，延べ参加者数 118 名であった。	筑波大学 オンライン開催

2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪 拓也（九州工業大学）、矢実 貴志（株NTT データ）	8 名	3 回 (1 回)	量子コンピュータやイジングマシンなどを含む次世代計算機を用いて、最適化をはじめとしたORの問題や実社会における具体的な課題に対する活用方法を検討するために、計3回の研究集会を開催した。延参加者 146 名。	オンライン開催
---	-------------------	-------------------------------	-----	--------------	---	---------

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第8回近藤賞
 - ▷ 室田 一雄（東京都立大学）
- (2) 第22回業績賞
 - ▷ 木村 俊一（北海道大学名誉教授）
- (3) 第46回普及賞
 - ▷ 高橋 豊（京都情報大学院大学・京都大学名誉教授）
 - ▷ 山下 英明（東京都立大学）
- (4) 第45回実施賞
 - ▷ 該当なし

2. 秋季表彰

- (1) 第11回研究賞
 - ▷ 来嶋 秀治（九州大学）
- (2) 第11回研究賞奨励賞
 - ▷ 伊藤 勝（日本大学）
 - ▷ 横井 優（国立情報学研究所）
- (3) 第11回論文賞
 - ▷ 藤原洋志（信州大学），荒木直浩（株式会社マイクロテック），山本博章（信州大学）
- (4) 第39回学生論文賞
 - ▷ 小原 光暁（修論 東京大学）
 - ▷ 加納 伸一（修論 筑波大学）
 - ▷ 杉浦 知樹（修論 名古屋大学）
 - ▷ 田中 雅人（修論 東京工業大学）
 - ▷ 羽佐田 紘之（修論 東京大学）
 - ▷ 枇々木 裕太（修論 慶應義塾大学）
 - ▷ 渡邊 燃（修論 東京工業大学）

【海外研究助成事業】

□事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化及び拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

2020 年度に次の 1 名を選考したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、派遣は 2021 年度に延期されていた。2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大が続いていたため、派遣は 2022 年度に延期されることになった。

1 伊藤 勝 (日本大学)

派遣期間：8 月 16 日～9 月 16 日

派遣先：米国 Department of Industrial and Systems Engineering, University of Minnesota
Zhaosong Lu 教授

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内容
なし			

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2021/3/29	オンライン	2020 年度事業報告, 2020 年度決算, 2021 年度事業計画についてなど
講演会	2021/3/29	オンライン	杉山 武史 (福島工業高等専門学校) 「グラフにおける禁止構造条件について」
セミナー	2021/11/13	オンライン	東北 OR セミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会。主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し、個々の大学や 研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている。今年度は、2021 年 11 月 13 日 (土) にオンラインで開催した。24 名 (うち学生 15 名) の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。本研究交流会では優秀な発表を行った若干名の学生に対して学生優秀発表賞を授与しており、本年度は 2 名が選出された。詳細は下記サイト参照。 http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2021/
会議	2021/11/13	オンライン	東北支部運営委員会

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2021/3/6	オンライン開催	2020 年度事業報告・決算報告, 2021 年度事業計画・予算・役員選出・審議・承認
中部支部研究発表会	2021/3/6	オンライン開催	発表 12 件, 事前登録者 56 名, 当日の観測者数 (最大) 52 名
招待講演	2021/3/6	オンライン開催	「ゲーム理論を使って、貿易問題を解く」 前田 隆 (金沢大学) 事前登録者 56 名, 当日の観測者数 (最大) 52 名
支部講演会	2021/6/19	オンライン開催	「診療予約制を導入する病院における外来患者の診察待ち 時間短縮化手法について」 市原 寛之 (中部大学) 「グラフ最適化問題に対するパラメータ化アルゴリズム」 土中 哲秀 (名古屋大学) 事前登録者 40 名, 当日の観測者数 (最大) 33 名
SSOR 中部支部 2021	2021/8/21	オンライン開催	発表 10 件, 事前登録者 30 名, 当日の観測者数 (最大) 29 名
招待講演	2021/8/21	オンライン開催	「非端末節点集合を伴う最小全域木問題を解くアルゴリズム について」 中山 慎一 (徳島大学) 事前登録者 30 名, 当日の観測者数 (最大) 29 名
2021 年度 OR 学会中部 支部シンポジウム	2020/12/11	オンライン開催	「動的価格決定モデルの基礎と需要関数の学習効果に関する 一考察」 佐藤 公俊 (神奈川大学) 「最適停止問題としてのリアルオプション」 後藤 允 (北海道大学) 「エネルギー技術のリアルオプション: 事業評価から経済分 析へ」 高嶋 隆太 (東京理科大学) 事前登録者 40 名, 当日の観測者数 (最大) 31 名

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2021/4/10	Zoomにて開催	2020年度事業報告・決算および2021年度事業計画・予算などが承認された。 ・出席者 26名, 委任状提出 36名 計 64名
支部記念講演会	2021/4/10	Zoomにて開催	・講師：木村俊一氏（北海道大学名誉教授） ・題目：「我が研究のランダムウォークー美しい数式をめざしてー」 ・参加者：66名
支部 SSOR 2021	2021/10/16-10/17	Zoomにて開催	・実行委員長：井上文彰（大阪大学） ・実行委員：井上真二（関西大学），木村達明（大阪大学），佐藤寛之（京都大学），檀寛成（関西大学），北條仁志（大阪府立大学） ・特別講演：池上敦子氏（成蹊大学）「ナーススケジューリングー実用解のための情報生成ー」 ・発表件数：15件 ・参加者：1日目 57名, 2日目 34名 ・発表者の中から，選考委員会を経て，4名に「OR学会関西支部 若手研究発表会 優秀発表賞」を授与することが決定した。
支部シンポジウム	2021/12/11	中央電気倶楽部	・実行委員長：北條仁志（大阪府立大学） ・参加者：会場での参加者 15名, オンライン配信視聴者 15名 ・講演者および講演題目 1. 芝田隆志氏（東京都立大学）「Investment, financing, strategic debt service, and formal bankruptcy」 2. 三好直人氏（東京工業大学）「ヌヴェーの交換公式とそのクラスター型無線ネットワークの解析への応用」 3. 土肥正氏（広島大学）「独立な並列コンポーネントシステムに対するグループ取替問題～ポアソン2項分布の計算アルゴリズムとその周辺～」 4. 開沼泰隆氏（東京都立大学）「グローバル・クローズド・ループ・サプライ・チェーン・モデルの設計」
支部運営委員会	第1回：2021/4/10 第2回：2021/11/25 第3回：2022/2/8	Zoomにて開催	第1回：出席者 28名, 委任状提出 9名 計 39名 第2回：出席者 23名, 委任状提出 3名 計 26名 第3回：出席者 23名, 委任状提出 6名 計 29名

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2021/3/26	オンライン (ZOOM)	令和2年度支部活動・決算の報告 令和3年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2021/11/13 2021/11/14	オンライン (ZOOM)	中国・四国支部では、若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中、その活動の一環として、若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。初日に情報交換会を設けることで、多くの意見交換が為されるとともに、親睦を深めることができた。(参加者：30名(内 学生18名))
支部シンポジウム	2021/12/18	オンライン (ZOOM)	本シンポジウムでは、現場の第一線でご活躍されている講師4名を招待した。社会に役立つ様々な応用を前提とした最適化モデルの実例をご紹介いただき、実現象をどのようにモデル化したのかについてわかりやすく解説していただいた。(参加者：36名)
支部研究部会	2021/11/24 2022/2/19 2022/2/26	鳥取大学 オンライン (ZOOM)	部会名「プロジェクトマネジメントと確率モデル」 主催講演会：3件(講師3名)
支部研究部会	2021/6/19 2021/12/4	オンライン (ZOOM)	部会名「SCM&サービス工学」 主催講演会：2件(講師2名)
支部研究部会	2021/12/17 2022/2/21	オンライン (ZOOM)	部会名「ORと数学」 共催研究会：2件(講師3名)
講演会	2021/3/26 2021/6/19 2021/11/13 2022/1/8 2022/2/16	オンライン (ZOOM)	講師：土肥正(広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授) 講師：久保田朋秀(日本マイクロソフト株式会社 デジタル・ガバメント統括本部 クラウドセキュリティ支援室長) 講師：中村隆博(鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程(社会人コース)) 講師：竹中毅(産業技術総合研究所 人間拡張研究センター サービス価値拡張研究チーム 研究チーム長) 講師：岩永佐織(海上保安大学校 海上安全学講座)

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2021/3/6	オンライン	・2020 年度活動報告, 2021 年度活動計画 ・参加者人数 : 19 人
講演会	2021/7/24	オンライン	・講師 : 二反田 篤史 様 (九州工業大学 大学院情報工学研究 院 知能情報工学研究系) ・題目 : 「平均場ニューラルネットワークの最適化法」 ・参加者人数 : 12 人
研究会	2021/7/24	オンライン	・講師 : 村原 英樹 様 (北九州市立大学 経済学部 経営情報 学科) ・題目 : 「多重ゼータ値と大野和について」 ・参加者人数 : 12 人
支部事業 SSOR	2021/11/13	オンライン	九州地区における若手 OR 研究交流会 ・発表者人数 : 17 件 ・参加者人数 : 33 人
講演会	2021/11/13	オンライン	・講師 : 宮代 隆平 様 (東京農工大学) ・題目 : 「特徴選択と整数最適化」 ・参加者人数 : 33 人
講演会	2021/12/11	ハイブリット 式 ・福岡工業大 学 ・オンライン	・講師 : 川崎 英文 様 (九州大学 大学院数理学研究院) ・題目 : 「不動点定理とその仲間たち」 ・講師 : 森脇 敏雄 様 (北九州市立大学 経済学部) ・題目 : 「FLEX Full Historical を利用した財務会計研究の 方向性」 ・参加者人数 : 11 人

【会議】

1. 通常総会

2021 年 4 月 27 日（オンライン開催）

◇審議

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 1 「2020年度事業報告」の件 | 承 | 認 |
| 2 「2020年度決算報告および監査報告」の件 | 〃 | |
| 3 「2021-2022年度新役員承認」の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | |
|--------------|---|---|
| 4 2021年度事業計画 | 報 | 告 |
| 5 2021年度収支予算 | 〃 | |

2. 理事会

【2021 年度第 1 回】 2021 年 4 月 8 日（オンライン開催）

◇審議

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| 1 前回議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 入会・シニア・特別会員承認の件 | 〃 | |
| 3 2021 年度総会資料の件 | 〃 | |
| 1 第 1 号議案 2020 年度事業報告の件 | | |
| 2 第 2 号議案 2020 年度決算報告と監査報告の件 | | |
| 3 第 3 号議案 2021-2022 年度役員承認の件 | | |
| （4 報告 1 2021-2022 年度事業計画書（参考：承認済）） | | |
| （5 報告 2 2021 年度収支予算書（賞金額変更事後承認）） | | |
| 4 2021 年度理事会等日程の件 | 〃 | |
| 5 2021 年度委員及び幹事委嘱の件 | 〃 | |
| 6 2021 年秋季研究発表会・シンポジウム予算の件 | 〃 | |
| 7 2022 年春季研究発表・シンポジウム日程・会場の件 | 〃 | |
| 8 2021 年研究グループへの追加補助金の補助対象及び金額 | 〃 | |
| 9 2021 年度ORセミナー年間計画の件 | 〃 | |
| 10 規程改訂の件 | 〃 | |
| 1 会計関連規程の改訂 | | |
| 2 OR機関誌関連規程の改訂 | | |
| 3 広報関連規程の改訂 | | |
| 4 表彰関連規程の改訂 | | |
| 11 支部会計監査廃止の件 | 〃 | |

◇報告

- | | | |
|---------------------------|---|---|
| 12 研究助成申請推薦に関する内規の新設 | 報 | 告 |
| 13 2020 年度研究部会活動報告と決算の件 | 〃 | |
| 14 ML の今後と新 Web サイト運営の件 | 〃 | |
| 15 代表理事の職務執行報告（2020 年度後半） | 〃 | |
| 16 次回理事会予定について | 〃 | |

【2021 年度第 2 回】 2021 年 5 月 26 日（オンライン開催）

◇審議

- | | | |
|------------------------------|---|---|
| 1 前回議事録確認 | 承 | 認 |
| 2 入会・シニア・特別会員承認の件 | 〃 | |
| 3 2022-2023 年度会長候補者選考委員会設置の件 | 〃 | |
| 4 学会役員選挙電子投票システム導入の件 | 〃 | |

5	メールサーバーの移行の件		〃
6	2021 年度秋季表彰（その 1）学会賞推薦の件		〃
7	2021 年度対外委員の件		〃
8	2021 年度委員及び幹事委嘱の件（論文誌編集委員会）		〃
9	2021 年春季研究発表会・シンポジウム決算の件		〃
10	2022 年春季研究発表会・シンポジウム現地開催検討の件		〃
11	2021 年度第 2 回 OR セミナー実施要項及び予算の件		〃
◇報告			
12	新ホームページ、ML、メールサーバー、電子課金について	報	告
13	2021 年度収支予算の経常収益減収の件		〃
14	事務局体制について		〃
15	次回理事会議事の件		〃

【2021 年度第 3 回】 2021 年 7 月 19 日（オンライン開催）

◇会長訓示

- 1 学会収支均衡に向けてのお願い

◇審議

2	前回議事録確認	承	認
3	入会・シニア・特別会員承認の件		〃
4	2021年度第1Q収支の件		〃
5	理事会資料の提出と配布方法の変更の件		〃
6	職員就業規程改訂の件		〃
7	事務局体制の件		〃
8	2021年秋季表彰（その2）学生論文賞推薦の件		〃
9	表彰関連の規程類の変更		〃
10	2021年度第1回ORセミナー成果及び決算の件		〃
11	3-4-1_研究普及員会規程改訂と委員会名簿更新の件		〃
12	2022年度支部事業費の件		〃

◇報告

13	文献賞と論文賞の英語表記の件	報	告
14	メーリングリストと新ホームページの件		〃
15	メールアドレス変更の件		〃
16	電子投票システムによる模擬投票実施の件		〃
17	学生会員の学年進行時における学生証確認の省略の件		〃
18	次回理事会議事の件		〃

【2021 年度第 1 回臨時理事会】 2021 年 9 月 8 日（オンライン開催）

◇審議

1	職員の退職の件	承	認
2	事務局体制の件		〃
3	職員就業規程改定の件		〃
4	会員管理システムの移行に伴う、会員データの外部提供の件		〃
5	電子投票システムの導入見直しの件		〃

◇報告

6	会長会務代行の件	報	告
7	機関誌学会だより削減の件		〃
8	理事会資料の提出方法（補足）の件		〃

【2021 年度第 4 回】 2021 年 10 月 27 日（オンライン開催）

◇審議

1 第3回理事会議事録確認	承	認
2 第1回臨時理事会議事録確認		〃
3 入会・シニア・特別会員承認の件		〃
4 2021年度第2Q収支の件		〃
5 2022年度予算作成お願い		〃
6 2022年春季研究発表会及びシンポジウム予算案の件		〃
7 2022年秋季研究発表会・シンポジウムの計画案の件		〃
8 2021年度第3回ORセミナー実施要項及び予算の件		〃
9 会員管理システムの移行の件		〃
10 論文賞英語表記の件		〃
11 就業規程改定の検討		〃
12 機関誌オンライン化検討に関する件		〃

◇報告

13 ORWiki とその他活動報告2021年度の件	報	告
14 現在の事務局体制の件		〃
15 2021年度前半代表理事職務執行状況報告の件		〃
16 2022-2023年度役員の選挙日程		〃
17 賛助会員年会費過払いの件		〃

【2021 年度第 5 回】 2021 年 12 月 21 日（オンライン開催）

◇審議

1 第4 回理事会議事録確認	承	認
2 入会・シニア・特別会員承認の件		〃
3 2021年秋季研究発表会及びシンポジウム決算の件		〃
4 2022年度支部事業費の件		〃
5 国内渉外に関する内規改訂の件		〃
6 2021年度第2回ORセミナー収支報告の件		〃
7 2022年度の普及関連事業の件		〃
8 ORセミナー実施手順の改訂の件		〃
9 2020年度「研究者海外研修支援事業」の延期の件		〃
10 事務局体制の件		〃
11 機関誌お知らせコンテンツの削減に関する件		〃
12 電子投票システム導入に伴う役員規程改定の件		〃
13 旧Webサーバの契約延長の件		〃
14 春季研究発表会発表受付システムの運用の件		〃

◇メール審議の確認

2022年春季研究発表会及びシンポジウムの開催概要の件	〃
-----------------------------	---

◇報告

15 2022年度予算案1次集計の件	報	告
16 令和4-5年度会長候補者選出の件		〃
17 賛助会員年会費過払いの件		〃
18 次回理事会議事予定		〃

【2021 年度第 6 回】 2022 年 1 月 26 日（オンライン開催）

◇審議

1 第5回理事会議事録確認	承	認
2 入会・シニア・特別会員承認の件		〃

3	2022年度春季表彰学会賞候補者推薦の件	〃	
4	2022年度新フェロー候補者推薦の件	〃	
5	表彰規程細則の一部改訂の件	〃	
6	2022年度研究部会・グループの新設・継続申請の件	〃	
7	2022年度研究部会・グループ追加補助金の件	〃	
8	2022年度第1回ORセミナー実施要項	〃	
9	2021年度3Q収支の件	〃	
10	2022年度予算の件	〃	
11	内閣府への届け出（2022年2月末まで）	〃	
12	2022年度業務委託契約変更等の件	〃	
13	2022年度通常総会日程の件	〃	
14	事務局体制の件	〃	
◇報告			
15	2022-2023年度役員選挙の件	報	告
16	会長候補者および代議員候補者信任投票の件	〃	
17	会員管理システム移行スケジュールの件	〃	
18	新年度委員選任の依頼の件	〃	
19	賛助会員年会費過払いの件（継続）	〃	
20	論文誌新任編集委員の件	〃	
21	規程分類の件	〃	
22	次回理事会議事予定	〃	

【役員】

理事（非常勤）

定数：12人から18人（現在：17人）

任期：2年

監事（非常勤）

定数：2人（現在：2人）

任期：2年

2021年度末現在

理事・監事 の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事（会長）	田口 東	非常勤	2020.4.27	会務の総理	なし	中央大学
〃（副会長）	田辺 隆人	〃	2020.4.27	〃	〃	株式会社NTT データ数理システム
〃（〃）	田村 明久	〃	2021.4.27	〃	〃	慶応義塾大学
〃（〃）	山田 昭雄	〃	2021.4.27	〃	〃	日本電気株式会社
〃（庶務）	原田 耕平	〃	2020.4.27	〃	〃	株式会社NTT データ数理システム
〃（〃）	鳥海 重喜	〃	2021.4.27	〃	〃	中央大学
〃（会計）	諸星 穂積	〃	2020.4.27	会計	〃	政策研究大学院大学
〃（普及）	永井 秀稔	〃	2020.4.27	普及	〃	日鉄ソリューションズ株式会社
〃（研究）	山下 真	〃	2021.4.27	研究	〃	東京工業大学
〃（OR誌編集）	野々部 宏司	〃	2021.4.27	機関誌編集	〃	法政大学
〃（JORSJ編集）	土谷 隆	〃	2020.4.27	論文誌編集	〃	政策研究大学院大学
〃（国際）	鵜飼 孝盛	〃	2021.4.27	国際	〃	防衛大学校
〃（渉外）	西松 研	〃	2020.4.27	渉外	〃	NTT ネットワーク基盤研究所
〃（広報）	森口 聡子	〃	2020.4.27	広報	〃	東京都立大学
〃（支部）	奥田 隆史	〃	2021.4.27	支部	〃	愛知県立大学
〃（大会）	古川 哲也	〃	2019.4.25	大会	〃	九州大学
〃（〃）	田中 環	〃	2020.4.27	〃	〃	新潟大学
〃（無任所）	（欠員）					
監事	細田 順子	〃	2020.4.27	定款 20 条	〃	株式会社日立製作所
〃	松林 伸生	〃	2021.4.27	〃	〃	慶応義塾大学

【会員状況】

1. 2021 年度通算 (2021/03/01～2022/2/28)

		名誉 会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
			一般	シニア・ 特別	有料	無料	A 種	B 種	
2021. 3. 1		13	1404	67	9	170	37 (46)	16 (16)	1716
入 会			33		5	46	3	3	90
退 会		▲ 1	▲ 104	▲ 13	▲ 1	▲ 75	▲ 4	▲ 1	▲ 199
移動	学→正		9		▲ 1	▲ 9			▲ 1
	学無→学有				1	▲ 1			0
	正→学		11			▲ 11			0
	正→シ		▲ 9	9					0
	シ→正								0
	A 種→B 種						▲ 1	1	0
今期間増減		▲ 1	▲ 60	▲ 4	4	▲ 50	▲ 2	3	▲ 110
2022. 2. 28 現在		12	1344	63	13	120	35 (38)	19 (19)	1606

() 内は口数

年月日	合計	前年比
2022.02.28	1606	▲ 110
2021.02.28	1716	▲ 96
2020.02.29	1812	▲ 72
2019.02.28	1884	▲ 24
2018.02.28	1908	▲ 50
2017.02.28	1958	▲ 15
2016.02.29	1973	▲ 67
2015.02.28	2040	▲ 45
2014.02.28	2085	29
2013.02.28	2056	▲ 86
2012.02.29	2142	▲ 56
2011.02.28	2198	▲ 1
2010.02.28	2199	▲ 40

2. 支部別会員数

支部	名誉 会員	正会員		学生会員		賛助会員		合計
		一般	シニア・ 特別	有料	無料	A 種	B 種	
北海道		37	2		1			40
東 北		44	2		3			49
中 部		104	9		9		2	124
関 西	2	182	10	2	15	5	1	217
中国・四国		60	4	1	3	1		69
九 州		67	6	2	6			81
本 部	10	850	30	8	83	29	16	1026
2022. 2. 28 現在	12	1344	63	13	120	35	19	1606

貸借対照表

令和 4年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	25,783,324	28,342,078	△ 2,558,754
未収会費	1,195,200	2,312,600	△ 1,117,400
未収金	639,020	727,255	△ 88,235
前払金	235,224	261,360	△ 26,136
前払費用	109,169	102,930	6,239
預け金	3,169,485	1,045,528	2,123,957
流動資産合計	31,131,422	32,791,751	△ 1,660,329
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	713,206	1,168,580	△ 455,374
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	4,200,000	4,500,000	△ 300,000
○A化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
○R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
若手○R研究者育成基金	7,500,000	7,500,000	0
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	834,101	1,074,497	△ 240,396
特定資産合計	73,127,307	75,123,077	△ 1,995,770
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	74,077,707	76,073,477	△ 1,995,770
資産合計	105,209,129	108,865,228	△ 3,656,099
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	44,077	43,200	877
未払費用	160,016	279,876	△ 119,860
前受金	2,471,471	1,814,454	657,017
前受会費	16,776,200	16,706,800	69,400
預り金	534,992	138,637	396,355
仮受金	0	500,000	△ 500,000
未払消費税等	244,700	272,600	△ 27,900
流動負債合計	20,231,456	19,755,567	475,889
2. 固定負債			
退職給付引当金	713,206	1,168,580	△ 455,374
リース債務	1,364,384	1,760,480	△ 396,096
固定負債合計	2,077,590	2,929,060	△ 851,470
負債合計	22,309,046	22,684,627	△ 375,581
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	77,900,083	81,180,601	△ 3,280,518
(うち特定資産への充当額)	(67,414,101)	(68,954,497)	(△ 1,540,396)
正味財産合計	82,900,083	86,180,601	△ 3,280,518
負債及び正味財産合計	105,209,129	108,865,228	△ 3,656,099

正味財産増減計算書

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,009	6,188	△ 4,179
特定資産受取利息	2,009	6,188	△ 4,179
受取入会金	103,200	59,700	43,500
受取正会員入会金収入	63,000	28,500	34,500
受取学生会員入会金収入	40,200	31,200	9,000
受取会費	24,494,400	26,083,600	△ 1,589,200
正会員受取会費収入	19,152,000	20,757,600	△ 1,605,600
学生会員受取会費収入	70,000	45,000	25,000
賛助会員受取会費収入	4,862,000	5,281,000	△ 419,000
シニア会員受取会費収入	410,400	0	410,400
事業収益	10,080,482	9,726,048	354,434
受取販売収益	2,271,717	2,530,132	△ 258,415
受取研究発表参加収入	2,009,000	1,198,000	811,000
受取参加料	2,366,500	498,350	1,868,150
受取広告料	3,162,050	4,305,892	△ 1,143,842
受取受託料	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取掲載料	101,000	23,000	78,000
受取著作権料	170,215	170,674	△ 459
受取寄付金	0	3,063,440	△ 3,063,440
受取寄付金	0	3,063,440	△ 3,063,440
雑収益	13,387	9,441	3,946
受取利息	171	190	△ 19
雑収益	13,216	9,251	3,965
経常収益計	34,693,478	38,948,417	△ 4,254,939
(2) 経常費用			
事業費	34,261,007	37,274,565	△ 3,013,558
給与手当	5,966,372	7,172,650	△ 1,206,278
賞与	1,734,912	2,107,962	△ 373,050
臨時雇賃金	552,718	0	552,718
退職金	0	42,750	△ 42,750
法定福利費	474,672	758,800	△ 284,128
福利厚生費	10,796	26,661	△ 15,865
旅費交通費	98,091	163,269	△ 65,178
通信運搬費	3,082,106	3,476,496	△ 394,390
退職給付費用	229,777	449,996	△ 220,219
消耗品費	854,054	2,528,237	△ 1,674,183
会議費	382,472	608,311	△ 225,839
印刷製本費	7,898,608	7,986,667	△ 88,059
賃借料	3,234,048	3,204,108	29,940
保険料	15,751	14,776	975
租税公課	244,700	272,600	△ 27,900
支払負担金	265,331	0	265,331
諸謝金	4,560,691	4,232,661	328,030
委託費	1,754,500	1,630,750	123,750
支払手数料	2,520,891	2,232,858	288,033
減価償却費	216,357	161,097	55,260
貸倒損失	164,160	190,640	△ 26,480
雑費	0	13,276	△ 13,276
管理費	3,712,989	4,061,761	△ 348,772
給与手当	662,930	796,958	△ 134,028
賞与	192,768	234,218	△ 41,450
臨時雇賃金	26,550	0	26,550
退職金	341,314	4,750	336,564
法定福利費	52,722	84,306	△ 31,584
福利厚生費	1,199	2,960	△ 1,761
旅費交通費	331,991	371,363	△ 39,372
通信運搬費	73,817	38,794	35,023
退職給付費用	25,530	49,999	△ 24,469
消耗品費	11,266	90,078	△ 78,812
会議費	5,400	1,257	4,143
賃借料	359,328	356,004	3,324
保険料	1,750	1,641	109
租税公課	1,750	33,200	△ 31,450
水道光熱費	253,949	268,557	△ 14,608
委託費	0	1,100	△ 1,100
支払手数料	170,446	97,511	72,935
支払報酬料	770,000	902,000	△ 132,000
諸会費	160,000	405,180	△ 245,180
減価償却費	24,039	17,899	6,140
貸倒損失	246,240	285,960	△ 39,720
雑費	0	18,026	△ 18,026
経常費用計	37,973,996	41,336,326	△ 3,362,330
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,280,518	△ 2,387,909	△ 892,609
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,280,518	△ 2,387,909	△ 892,609
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	0	397,074	△ 397,074
経常外費用計	0	397,074	△ 397,074
当期経常外増減額	0	△ 397,074	397,074
当期一般正味財産増減額	△ 3,280,518	△ 2,784,983	△ 495,535
一般正味財産期首残高	81,180,601	83,965,584	△ 2,784,983
一般正味財産期末残高	77,900,083	81,180,601	△ 3,280,518
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	82,900,083	86,180,601	△ 3,280,518

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 3月 1日から令和 4年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小 計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	1,983	1,983	26	0	2,009
特定資産受取利息	1,983	1,983	26	0	2,009
受取入会金	103,200	103,200	0	0	103,200
受取正会員入会金収入	63,000	63,000	0	0	63,000
受取学生会員入会金収入	40,200	40,200	0	0	40,200
受取会費	20,794,824	20,794,824	3,699,576	0	24,494,400
正会員受取会費収入	15,452,424	15,452,424	3,699,576	0	19,152,000
学生会員受取会費収入	70,000	70,000	0	0	70,000
賛助会員受取会費収入	4,862,000	4,862,000	0	0	4,862,000
シニア会員受取会費収入	410,400	410,400	0	0	410,400
事業収益	10,080,482	10,080,482	0	0	10,080,482
受取販売収益	2,271,717	2,271,717	0	0	2,271,717
受取研究発表参加収入	2,009,000	2,009,000	0	0	2,009,000
受取参加料	2,366,500	2,366,500	0	0	2,366,500
受取広告料	3,162,050	3,162,050	0	0	3,162,050
受取掲載料	101,000	101,000	0	0	101,000
受取著作権料	170,215	170,215	0	0	170,215
雑収益	0	0	13,387	0	13,387
受取利息	0	0	171	0	171
雑収益	0	0	13,216	0	13,216
経常収益計	30,980,489	30,980,489	3,712,989	0	34,693,478
(2) 経常費用					
事業費	34,261,007	34,261,007	0	0	34,261,007
給与手当	5,966,372	5,966,372	0	0	5,966,372
賞与	1,734,912	1,734,912	0	0	1,734,912
臨時雇賃金	552,718	552,718	0	0	552,718
法定福利費	474,672	474,672	0	0	474,672
福利厚生費	10,796	10,796	0	0	10,796
旅費交通費	98,091	98,091	0	0	98,091
通信運搬費	3,082,106	3,082,106	0	0	3,082,106
退職給付費用	229,777	229,777	0	0	229,777
消耗品費	854,054	854,054	0	0	854,054
会議費	382,472	382,472	0	0	382,472
印刷製本費	7,898,608	7,898,608	0	0	7,898,608
賃借料	3,234,048	3,234,048	0	0	3,234,048
保険料	15,751	15,751	0	0	15,751
租税公課	244,700	244,700	0	0	244,700
支払負担金	265,331	265,331	0	0	265,331
諸謝金	4,560,691	4,560,691	0	0	4,560,691
委託費	1,754,500	1,754,500	0	0	1,754,500
支払手数料	2,520,891	2,520,891	0	0	2,520,891
減価償却費	216,357	216,357	0	0	216,357
貸倒損失	164,160	164,160	0	0	164,160
管理費	0	0	3,712,989	0	3,712,989
給与手当	0	0	662,930	0	662,930
賞与	0	0	192,768	0	192,768
臨時雇賃金	0	0	26,550	0	26,550
退職金	0	0	341,314	0	341,314
法定福利費	0	0	52,722	0	52,722
福利厚生費	0	0	1,199	0	1,199
旅費交通費	0	0	331,991	0	331,991
通信運搬費	0	0	73,817	0	73,817
退職給付費用	0	0	25,530	0	25,530
消耗品費	0	0	11,266	0	11,266
会議費	0	0	5,400	0	5,400
賃借料	0	0	359,328	0	359,328
保険料	0	0	1,750	0	1,750
租税公課	0	0	1,750	0	1,750
水道光熱費	0	0	253,949	0	253,949
支払手数料	0	0	170,446	0	170,446
支払報酬料	0	0	770,000	0	770,000
諸会費	0	0	160,000	0	160,000
減価償却費	0	0	24,039	0	24,039
貸倒損失	0	0	246,240	0	246,240
経常費用計	34,261,007	34,261,007	3,712,989	0	37,973,996
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,280,518	△ 3,280,518	0	0	△ 3,280,518
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,280,518	△ 3,280,518	0	0	△ 3,280,518
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,280,518	△ 3,280,518	0	0	△ 3,280,518
当期一般正味財産増減額	△ 3,280,518	△ 3,280,518	0	0	△ 3,280,518
一般正味財産期首残高	5,047,671	5,047,671	76,132,930	0	81,180,601
一般正味財産期末残高	1,767,153	1,767,153	76,132,930	0	77,900,083
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	6,767,153	6,767,153	76,132,930	0	82,900,083

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 重要な会計方針
- (1) 固定資産の減価償却の方法
- リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準
- 退職給付引当金
- 職員の退職金支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
- 消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,168,580	713,206	1,168,580	713,206
名簿作成準備積立金資産	500,000	0	0	500,000
国際協力積立金資産	15,000,000	0	0	15,000,000
表彰事業積立金資産	4,500,000	0	300,000	4,200,000
○Ａ化積立金資産	8,380,000	0	0	8,380,000
○Ｒ事典積立金資産	4,000,000	0	0	4,000,000
近藤賞基金引当資産	8,000,000	0	1,000,000	7,000,000
公益事業充当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
若手○Ｒ研究者育成基金	7,500,000	0	0	7,500,000
助成事業積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
リース資産	1,074,497	0	240,396	834,101
小 計	75,123,077	713,206	2,708,976	73,127,307
合 計	75,123,077	713,206	2,708,976	73,127,307

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	713,206	(0)	(0)	(713,206)
名簿作成準備積立金資産	500,000	(0)	(500,000)	(0)
国際協力積立金資産	15,000,000	(0)	(15,000,000)	(0)
表彰事業積立金資産	4,200,000	(0)	(4,200,000)	(0)
○Ａ化積立金資産	8,380,000	(0)	(8,380,000)	(0)
○Ｒ事典積立金資産	4,000,000	(0)	(4,000,000)	(0)
近藤賞基金引当資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
公益事業充当資産	20,000,000	(5,000,000)	(15,000,000)	(0)
若手○Ｒ研究者育成基金	7,500,000	(0)	(7,500,000)	(0)
助成事業積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
リース資産	834,101	(0)	(834,101)	(0)
小 計	73,127,307	(5,000,000)	(67,414,101)	(713,206)
合 計	73,127,307	(5,000,000)	(67,414,101)	(713,206)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	1,314,372	480,271	834,101
合 計	1,314,372	480,271	834,101

附属明細書

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

1. 特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,168,580	255,307	710,681	0	713,206

財産目録

令和 4年 2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	35,243
		<振替預金>		9,620,586
		ゆうちょ銀行	運転資金として	7,452,054
		根津支店		
		ゆうちょ銀行	運転資金として	2,168,532
		根津支店		
		<普通預金>		16,127,495
		みずほ銀行根津支店	運転資金として	7,214,818
		三井住友銀行	運転資金として	3,207,331
		白山支店		
		三菱UFJ銀行	運転資金として	1,169,332
		千駄木支店		
		みずほ銀行根津支店	運転資金として	704,262
		みずほ銀行根津支店	運転資金として	3,831,752
	未収会費			1,195,200
	未収金	正会員	当年度会費の未収分	1,195,200
				639,020
	前払金	㈱明報社	当年度広告料の未収分	536,250
		部会等	未精算金	102,770
	前払費用	サンチカビル	3月分事務所家賃	235,224
		事務局	事務局保険料等	109,169
	預け金	P a y P a l	運転資金として	3,169,485
流動資産合計				31,131,422
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産			713,206
		みずほ銀行 横山町支店	職員の退職給付の給付に備えるために積立 資産として管理されている預金	713,206
	名簿作成準備積立金 資産			500,000
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	名簿作成のための積立資金	500,000
	国際協力積立金資産			15,000,000
		三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している	15,000,000
	表彰事業積立金資産			4,200,000
		みずほ銀行 根津支店	表彰事業のための積立資産	4,200,000
	〇 A 化積立金資産			8,380,000
		三井住友銀行 白山支店	備品等の〇 A 化のための積立資産	8,380,000
	〇 R 事典積立金資産			4,000,000
		みずほ銀行 根津支店	〇 R 辞典のための積立資産	4,000,000
	近藤賞基金引当資産			7,000,000
		みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発事 業の近藤賞のための積立資産	7,000,000
	公益事業充当資産			20,000,000
		みずほ銀行 根津支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している。	5,000,000
	若手〇 R 研究者育成 基金	三菱UFJ銀行 千駄木支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究・ 普及啓発事業で使用している。	15,000,000
				7,500,000
	助成事業積立資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産	7,500,000
				5,000,000
	リース資産	みずほ銀行 根津支店	特定費用準備資金であり、研究・普及啓発 事業のための積立資産	5,000,000
		複合機他	共用財産であり、うち90%は公益目的保有財 産として公益目的事業の用に供し、うち10% は管理運営の用に供している	834,101
	その他固定資産			
	保証金	サンチカビル	事務所の保証金	950,400
固定資産合計				74,077,707
資産合計				105,209,129
(流動負債)	未払金			44,077
		その他	その他	44,077
	未払費用	日本年金機構他	社会保険料他	160,016
				2,471,471
	前受金	正会員	入会金の前受分	13,500
		学生会員	入会金の前受分	14,400
		会員等	翌年度シンポジウム参加費他	1,299,571
		会員等	翌年度春季研究発表会参加費他	1,144,000
				16,776,200
		正会員	正会員会費の前受分	12,700,800
	前受会費	学生会員	学生会員会費の前受分	380,000
		賛助会員 A	賛助会員会費の前受分	2,565,000
		賛助会員 B	賛助会員会費の前受分	864,000
		シニア会員	シニア会員会費の前受分	266,400
				534,992
		職員等	職員の源泉所得税の預かり分	428,668
	預り金	講師等	講師謝金の源泉税預り分	64,978
		公認会計士等	会計士事務所の源泉税預り分	41,346
	未払消費税等	税務署	消費税の支払額	244,700
流動負債合計				20,231,456
(固定負債)	退職給付引当金			713,206
		職員	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	713,206
	リース債務			1,364,384
		シャープ ファイナンス	リース資産の支払残高	264,384
		日立キャピタル	リース資産の支払残高	1,100,000
固定負債合計				2,077,590
負債合計				22,309,046
正味財産				82,900,083

監 査 報 告

2022 年 4 月 5 日

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

会長 田口 東 殿

公益社団法人

日本オペレーションズ・リサーチ学会

監事 五十嵐 順子

監事 松林 伸生



私たち監事は、2021 年 3 月 1 日から 2022 年 2 月 28 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表（内訳表を含む）、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2022-2023 年度役員候補者の件

理事／監事	候補者	
理事	猿渡 康文	筑波大学
理事	所 健一	(一財)電力中央研究所
理事	堀 淳志	三菱電機(株)
理事	牧野 和久	京都大学
理事	後藤 順哉	中央大学
理事	辻野 雅之	東京国際工科専門職大学
理事	塩野 直志	神奈川工科大学
理事	木庭 淳	兵庫県立大学
監事	三嶋 英俊	三菱電機(株)

役員及び役員候補者の担当会務

会務	定数	2020～2021 年度役員 改選		2021～2022 年度役員 非改選		2022～2023 年度役員 候補者	
会長 代表理事	1	田口 東	中央大学			山上 伸	東京ガス(株)
副会長 代表理事	3(2)			田村 明久	慶応義塾 大学		
				山田 昭雄	日本電気 (株)		
		田辺 隆人	NTT データ 数理システム			猿渡 康文	筑波大学
庶務理事	2(1)			鳥海 重喜	中央大学		
		原田 耕平	NTT データ 数理システム			所 健一	(一財)電力 中央研究所
国際理事	1(0)			鵜飼 孝盛	防衛大学校		
研究普及 理事	2(1)			山下 真	東京工業 大学		
		永井 秀稔	日鉄ソリュー ションズ(株)			堀 淳志	三菱電機(株)
編集理事	2(1)			野々部 宏司	法政大学		
		土谷 隆	政策研究 大学院大学			牧野 和久	京都大学
会計理事	1(1)	諸星 穂積	政策研究 大学院大学			後藤 順哉	中央大学
渉外理事	1(1)	西松 研	NTT ネットワーク 基盤研究所			辻野 雅之	東京国際工科専門 職大学
広報理事	1(1)	森口 聡子	東京都立 大学			塩野 直志	神奈川工科大学
支部理事	1(0)			奥田 隆史	愛知県立 大学		
大会理事	2(1)			田中 環	新潟大学		
		古川 哲也	九州大学			木庭 淳	兵庫県立 大学
無任所 理事	1(1)	(欠員)	(欠員)	(欠員)	(欠員)	(欠員)	(欠員)
監事	2(1)			松林 伸生	慶応義塾大 学		
		細田 順子	(株) 日立製作所			三嶋 英俊	三菱電機(株)

機関誌冊子体の実費負担の件

□機関誌は電子版を主体とした発行形態に移行しており、2022年度以降は冊子体の送付は必須でなく任意となる。2022年度は移行期間のため、冊子体送付の費用は0円とするが、2023年度以降は有料化し、冊子体の送付を希望する正会員については実費費用として100円未満を切り上げた金額である3,400円をご負担いただくこととし、賛助会員、シニア会員、特別会員、学生会員については、冊子体送付に係る費用を徴収しないことを提案する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2022 年度事業計画書

事業番号: 公1(1本のみ)

事業の内容: オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会、シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会、シンポジウム、OR セミナー、OR サロン、企業事例交流会等の活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2022 年度計画

2021 年度は全活動をオンライン開催にて実施し、新型コロナ感染症対策に万全を期した。2022 年度の本事業の各種活動は、本年度前半はオンライン開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染状況に応じ、年度後半ではリアル開催の実施も検討する。また、学会諸活動への参加申込と参加費払込のオンライン化を定着させ、申込者の手間の軽減と事務局の事務手続きの効率化を図る。また、各種活動への参加費は適正な価格を設定し、学会全体の収支相償に貢献する。

1 研究発表会

◇春季研究発表会:2022 年 3 月 17～18 日 オンライン開催 参加予定 230 名

実行委員長 杉山学(群馬大学)

◇秋季研究発表会:2022 年 9 月 13～14 日 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(予定)

参加予定 未定

特別テーマ「未定」

実行委員長 田中環(新潟大学)

2 シンポジウム

◇春季シンポジウム:2022 年 3 月 16 日 オンライン開催 参加予定 120 名

特別テーマ「ゲーム理論と OR の最前線(仮)」

実行委員長 関庸一(群馬大学)

◇秋季シンポジウム:2022 年 9 月 12 日 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(予定)

特別テーマ「未定」

実行委員長 鈴木賢一(東北大学)

◇支部主催シンポジウム

	実施支部	テーマ	実施時期	実施場所
4	関西支部	モノづくり DX に貢献するマネジメント技術シンポジウム	2022 年 12 月	大阪市(詳細未定)
5	中国・四国支部	最適化問題シンポジウム	2022 年度後期	オンライン開催
6	中部支部	「不確実性下での最適化：理論・応用と OR」シンポジウム	2022 年 12 月	ハイブリッド(名城大学)or オンライン開催

3 OR セミナー

年間3回開催

	テーマ	実施時期	実施場所
1	メタヒューリスティクス	2022 年 5 月 予定	オンライン開催
2	Python ではじめる数理最適化	2022 年 8 月 予定	
3	機械学習	2022 年後期 予定	検討中

4 企業事例交流会

◇春季研究発表会において開催:2022 年 3 月 16 日 オンライン開催 詳細未定

◇秋季研究発表会において開催:2022 年 9 月 12 日 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 詳細未定

5 SSOR

SSOR:学生会員・若手会員を主な対象とした合宿形式の交流イベント

	主催	実施時期	実施場所
1	中国・四国支部	2022 年 11 月	高松市およびオンライン

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2022 年度計画

1 機関誌

機関誌の冊子版は、主要な会員サービスの一つとして会員に郵送してきたが、省資源化の観点から会員サービス向上のための在り方を見直し、電子版配布主体へ移行しつつある。2022 年度については、冊子版は賛助会員、書店販売、会員希望者に限定し、機関誌のオンライン化を加速させる。

◇発行回数: 毎月 1 回 年 12 回

◇発行号: 67 巻 3 号～68 巻 2 号

◇発行部数: 各号 2100 部

2 論文誌

論文誌が使用している投稿査読システムを、J-STAGE の投稿査読システム等への移行を検討し、状況が許せば速やかに移行する。

・Journal of the Operations Research Society of Japan (英文論文誌)

◇発行回数: 年 4 回

◇発行号: 65 巻 2 号～66 巻 1 号

◇発行総数: 各 60 部

・Transactions of the Operations Research Society of Japan (和文論文誌)

◇発行回数: 年 1 回

◇発行号: 65 巻

◇発行総数: 40 部

3 ウェブサイトの充実

2021 年度に学会ウェブサイトの抜本的リニューアルを実施し、レスポンス対応などの最新の情報提供体制を整えた。2022 年度は会員管理システムとの連携を図ることで会員へ提供するサービスを充実させると

もに、Web 上のコンテンツを拡充することで非会員に対してもオペレーションズ・リサーチの魅力を訴求していく。

4 メーリングリストの活用

会員・非会員を問わず、オペレーションズ・リサーチに興味を持っている人たちの交流に資するメーリングリストを運用する。メーリングリストに登録されているアドレスを適切に管理し、不達アドレスを除外することにより、実効性の高いメーリングリストの維持管理に努める。

5 メールマガジンの充実

メールマガジンもしくは同等の機能を持つ情報配信システムを利用し、学会から会員へのプッシュ型の情報発信サービスを提供する。配信する内容は、本学会のみならず関連学会の情報を含めて、内容の充実化に努める。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

調査研究にあたっては、専門の研究部会を設置し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行う。

□2022 年度計画

常設部会			
A	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	豊泉 洋 (早稲田大学)	井上 文彰 (大阪大学)
2	数理計画 (RAMP)	吉瀬 章子 (筑波大学)	高野 祐一 (筑波大学)
3	評価の OR	杉山 学 (群馬大学)	趙 宇 (東京理科大学)
4	意思決定法	飯田 洋市 (諏訪東京理科大学)	大山口 菜都美 (秀明大学)
5	サプライチェーン戦略	加納 政志 (株式会社日立製作所)	草刈 君子
			主査 2020-、幹事 2011-

研究部会			
B	部 会 名	主 査	幹 事
1	ヘルスケアの OR	高木 英明 (筑波大学)	小笠原 悠 (東京都立大学)
2	確率最適化とその応用	来島 愛子 (上智大学)	王 琦 (長崎総合科学大学)
3	信頼性と OR	伊藤 弘道 (鳥取大学)	小柳 淳二 (鳥取大学)
4	エネルギーシステムの進化と OR	所 健一 (一般財団法人 電力中央研究所)	宇田川 佑介 (株式会社 構造計画研究所)
5	データドリブンマーケティング	横山 暁 (青山学院大学)	朝日 弓未 (東京理科大学)
			備考
			2019-2020 2021-2022 継続
			2022-
			2022-
			2020-2021 2022-継続
			2020-2021 2022-継続

			大竹 恒平（東海大学）	
6	最適化手法とアルゴリズム (SOMA)	谷川 眞一（東京大学）	伊藤 勝（日本大学）	2021-2022 継続
7	流動の数値	鳥海 重喜（中央大学）	稲川 敬介（秋田県立大学）	2021-2022 継続
8	危機管理と公衆安全	鶴飼 孝盛（防衛大学校）	佐久間 大（防衛大学校）	2021-2022 継続
9	超スマート社会のシステムデザイン のための理論と応用	牧野 和久（京都大学）	山口 勇太郎（大阪大学） 森本 陽（三菱重工業（株））	2019-2020 2021

研究グループ				
C	グループ名	主 査	幹 事	備 考
1	未来都市の OR	三浦 英俊（南山大学）	巖 先鏞（筑波大学）	2022-
2	量子コンピュータと次世代計算機活用	大輪 拓也（九州工業大学）	矢実 貴志（（株）NTTデータ）	2019-2020 2021-2022 継続

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

□2022 年度計画

〈春季表彰〉1 月末までに審査・承認予定

- | | |
|-------|---------|
| 1 業績賞 | 1 件予定 |
| 2 普及賞 | 2 件予定 |
| 3 実施賞 | 1 件程度予定 |

〈秋季表彰〉7 月末までに審査・承認予定

- | | |
|----------|---------|
| 1 研究賞 | 1 件予定 |
| 2 研究賞奨励賞 | 3 件程度予定 |
| 3 事例研究賞 | 3 件程度予定 |
| 4 論文賞 | 1 件予定 |
| 5 学生論文賞 | 5 件程度予定 |

【海外助成事業】

□事業の趣旨・内容

2017 年度より「60 周年記念事業」の一環として、若手研究者の国際的ネットワークづくりの支援を主な狙いとした、新たな事業として「助成事業」をスタートさせた。これは、ある期間、海外研修・海外機関へ派遣することにより、オペレーションズ・リサーチの研究及び応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

OR 学会会員以外にも門戸を広げ広く公募し、国際委員会の選考等を経て、年間 2 名程度の海外派遣を実施する。本措置は 5 年間に期間を 2021 年度派遣分(2020 年度選考分)までの暫定と定められている。

□2022 年度計画

2020 年度の派遣予定者が、新型コロナウイルス感染拡大のため、未だ派遣が延期されている。このため、今年度は新たな派遣希望者の募集を中止し、感染拡大状況が許せば、2020 年度の派遣予定者 1 名派遣の実現を追求する。

本年度が派遣最終年度であり、2023 年度の募集は行わない。

【事務局体制の充実】

□体制強化への取り組み

2022 年度は新事務局体制となるため、事務局内のコミュニケーション活性化等に取り組むことにより、事務局体制の強化を図る。

□業務の効率化

各種参加費の電子決済等、各種業務処理ソフトウェアを導入し、事務局業務をデジタル化することにより、事務局業務の効率化を進めている。これにより削減した業務量を学会諸活動や会員向けサービスの充実に振り分け、学会活動の更なる活性化に貢献する。

□テレワーク体制確立

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止、東京オリンピック開催に伴う交通集中回避、及び、業務処理の効率化による働き方改革の観点から、事務局職員のテレワーク体制を確立した。また、このために必要な、職員就業規程等を改訂するとともに、テレワーク定着促進助成金を原資として、テレワーク用端末及びネットワーク環境の整備、並びに、テレワークで業務処理が完結する業務処理ソフトウェアを整備した。2022 年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から適宜テレワークを実施し、感染拡大の防止に努める。

【その他】

□学会役員選挙電子化

昨年度は、2022 年 2 月に次期会長候補者の信任選挙及び代議員の選挙を電子選挙により実施した。本年度は、電子選挙方式の採用による事務局の開封集計作業の省力化の検証を実施し、学会の役員選挙の電子化の定着化を図る。

収支予算書内訳表

令和 4年 3月 1日から令和 5年 2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	3,500	3,500	1,800	0	5,300
受取利息	3,500	3,500	1,800	0	5,300
受取入会金	36,000	36,000	27,000	0	63,000
受取正会員入会金収入	18,000	18,000	27,000	0	45,000
受取学生会員入会金収入	18,000	18,000	0	0	18,000
受取会費	12,617,400	12,617,400	11,853,600	0	24,471,000
正会員受取会費収入	7,821,760	7,821,760	11,853,600	0	19,675,360
学生会員受取会費収入	250,000	250,000	0	0	250,000
賛助会員受取会費収入	4,465,000	4,465,000	0	0	4,465,000
シニア会員受取会費収入	80,640	80,640	0	0	80,640
事業収益	12,203,000	12,203,000	0	0	12,203,000
受取販売収益	2,460,000	2,460,000	0	0	2,460,000
受取研究発表参加収入	2,938,000	2,938,000	0	0	2,938,000
受取参加料	3,195,000	3,195,000	0	0	3,195,000
受取広告料	3,440,000	3,440,000	0	0	3,440,000
受取著作権料	170,000	170,000	0	0	170,000
経常収益計	24,859,900	24,859,900	11,882,400	0	36,742,300
(2) 経常費用					
事業費	37,759,601	37,759,601	0	0	37,759,601
給与手当	6,026,940	6,026,940	0	0	6,026,940
賞与	1,903,878	1,903,878	0	0	1,903,878
臨時雇賃金	1,330,000	1,330,000	0	0	1,330,000
法定福利費	500,000	500,000	0	0	500,000
福利厚生費	400,000	400,000	0	0	400,000
旅費交通費	1,743,280	1,743,280	0	0	1,743,280
通信運搬費	2,650,000	2,650,000	0	0	2,650,000
退職給付費用	385,094	385,094	0	0	385,094
消耗品費	1,000,050	1,000,050	0	0	1,000,050
会議費	3,989,988	3,989,988	0	0	3,989,988
印刷製本費	8,031,760	8,031,760	0	0	8,031,760
修繕費	30,000	30,000	0	0	30,000
賃借料	2,432,419	2,432,419	0	0	2,432,419
諸謝金	2,865,770	2,865,770	0	0	2,865,770
委託費	2,480,000	2,480,000	0	0	2,480,000
支払手数料	1,502,982	1,502,982	0	0	1,502,982
減価償却費	380,000	380,000	0	0	380,000
雑費	107,440	107,440	0	0	107,440
管理費	0	0	4,842,040	0	4,842,040
給与手当	0	0	669,660	0	669,660
賞与	0	0	211,542	0	211,542
臨時雇賃金	0	0	63,000	0	63,000
法定福利費	0	0	87,395	0	87,395
福利厚生費	0	0	12,000	0	12,000
旅費交通費	0	0	50,400	0	50,400
消耗品費	0	0	12,000	0	12,000
会議費	0	0	12,000	0	12,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
修繕費	0	0	16,000	0	16,000
賃借料	0	0	270,269	0	270,269
保険料	0	0	3,000	0	3,000
租税公課	0	0	750,000	0	750,000
水道光熱費	0	0	240,000	0	240,000
支払手数料	0	0	863,774	0	863,774
支払報酬料	0	0	932,000	0	932,000
諸会費	0	0	515,000	0	515,000
減価償却費	0	0	42,000	0	42,000
雑費	0	0	50,000	0	50,000
経常費用計	37,759,601	37,759,601	4,842,040	0	42,601,641
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341
当期一般正味財産増減額	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 12,899,701	△ 12,899,701	7,040,360	0	△ 5,859,341

ORSJ OR003

令和 4年 1月18日 17:15:44